

渡 新南郷橋の開通式 り初めて完成を祝う

4月15日、大橋地区と山口地区を結ぶ重要な交通基盤である新南郷橋の開通式が行われ、渡部町長や地元住民、関係者らが出席し、開通を祝いました。

町では、旧南郷橋の老朽化が著しく幅員狭小で、安全安心な通行に支障をきたしてきたことから、新南郷橋の整備を進めてきました。また、橋の表示板は、南会津高校2年の中山翠さんに揮毫いただきました。



開通式での渡り初めの様子



開通を祝い多くの方が式に出席



南郷橋表示版



おぜしかプロジェクト主催で開催

鹿 第1回奥会津鹿フェスティバル について知って楽しむ2日間

4月15・16日、きとねにてシカについて知り、自然保護へ関心を高めてもらう初イベント「第1回奥会津鹿フェスティバル」が開催されました。

シカの革や角を使った工作体験や手作り小物の販売をはじめ、鹿肉を使ったカレーやピザなどの鹿肉料理や会津の郷土料理を味わえるブースが並び、訪れた多くの方で会場は賑わいを見せました。

プ 小中学校に本を寄贈 口の技を子どもたちへ!

4月21日、合同会社室井商事の室井康雄さん(針生)より、ご自身の著書を町内の小中学校に寄贈いただきました。室井さんはスタジオジブリでアニメーターをされた経歴をお持ちで、「この本をきっかけに、絵を描くことを好きになってもらったり、得意になってもらうだけでなく、子どもたちの進路選択の手助けになれば嬉しい」と話されていました。



阿久津学校教育課長に本を手渡す室井さん(左)

歴 県立高校2校で閉校式 史・伝統を新たな時代へ

旧南会津高校と旧田島高校が統合して新生南会津高校が開校するのを前に、両校で閉校式が行われました。

3月20日には、南会津高校で閉校式が行われました。昭和23年に「南会西部高等学校」として開校した同校は、これまでに6,590名の卒業生を輩出し、75年の歴史に幕を下ろしました。生徒会長の湯田碧仁さんは「校舎で過ごした日々は色あせることなく私たちの心の中にある。75年の伝統は新生南会津高校へと引き継がれると思います」と挨拶しました。式終了後には、先生方が制作したメモリアルムービーが放映されました。

3月30日には、田島高校で閉校式が行われました。明治44年に町立の「田島実業補習学校」として開校した同校は、これまでに18,139名の卒業生を輩出し、112年の歴史に幕を下ろしました。生徒会長の大竹拓さんは「田島高校の精神を受け継ぎ、新しい南会津高校の基礎を作らんと決意します」と生徒代表の挨拶をしました。校歌斉唱では、昭和43年の卒業生で、在学当時、応援団長を務めていた室井尊光さん(関本)が指揮を執るとともに、母校への感謝を込めてエールを送りました。



メモリアルムービー放映の様子(南会津高校)



室井さんによる感謝のエール(田島高校)



新しい校旗を手にする高橋校長

新 新生南会津高校が開校 しい時代への第一歩

4月10日、南会津高校の開校式が行われ、新たな歴史をスタートさせました。式では、大沼博文県教育長が、「両校で築いてきた長年の伝統を引き継ぎ、地域社会へ貢献できる人材を育てていきたい」と式辞を述べた後、高橋喜智校長に町の花である「ヤマツツジ」をメインモチーフとし、「南会津町で育まれる若い力と可能性」を主たるコンセプトとした校章があしらわれた校旗を手渡しました。

また、郡山市出身の作家古川日出男氏、作曲家の田中達也氏が、生徒たちから学校生活や本町に対する思いを聞くなどして制作した校歌が披露されました。



校歌斉唱の様子

【校訓】
・ 湧志 ・ 友愛 ・ 協働

【教育目標】
・ 主体的に学び、考え、未来を切り拓く力の育成
・ 自他を尊重し、調和のとれた豊かな個性の育成
・ 地域に学び、社会に貢献しようとする人間の育成
・ 健康の保持増進に努め、心身ともに健康な人間の育成

友 湯田テルさん百歳を迎える と祝う節目の日

3月20日、めでたく100歳を迎えられた湯田テルさん(関本)への賀寿贈呈式が、入所されているグループホーム郷の家で行われました。

日課は、新聞を読むことで、気になったことはメモを取るよう心掛けているとのこと。式当日は、仲良しの友達と職員の方々に囲まれ晴れの日を祝ったテルさん、これからもお元気にお過ごしください。



賀寿状を手に持ち撮影に応じる湯田さん㊦

人 自衛官募集相談員委嘱式 材確保へ尽力

4月18日、標記委嘱式が行われ、相談員の方へ委嘱状が交付されました。自衛官募集相談員とは、自衛隊と連携しながら志願者への情報提供や相談等を行い、募集事務に協力する方であり、任期は2年間です。

【自衛官相談員】

星 明則さん(藤生) 渡部 正幸さん(川島)
印南 正人さん(小塩) 五十嵐博夫さん(糸沢)



右から、渡部町長、印南さん、渡部さん、星さん
自衛隊福島地方協力本部前原募集課長
同本部会津若松出張所鈴木所長



会津田島太鼓「狐ノ刃」の皆さん

全 第25回日本太鼓ジュニアコンクール 国で響かず 会津田島太鼓

3月19日、会津田島太鼓「狐ノ刃」の小学3年生から高校2年生までメンバー8人が、金沢市で開かれた太鼓の標記全国大会に県の代表として出場しました。

全国という大きな舞台上で堂々たる演奏を披露。予選を勝ち抜いた44団体で競いあったことで、自信が付き、大舞台上で練習の成果を発揮する精神力・チームワークを得ることができました。



左から星工場長、渡部所長

若 (株)スミタフォトニクスがユースエールに認定 者の雇用・育成促進が認められ

4月19日、(株)スミタフォトニクスが若者の採用、育成に積極的な企業を認定する厚生労働省の「ユースエール認定企業」に選ばれたことに伴い、認定通知書の交付式がハローワーク南会津で行われました。

認定には、離職率の低さなど一定の基準を満たす必要があり、同社の星正男工場長は「認定に恥じないように人材育成等に尽力していきたい」と話しました。

子 交通安全啓発品が届く 子どもたちの交通安全を願って

3月29日、湯田保典さん(永田)がご自身で作成された交通安全啓発品120個を寄贈いただきました。

啓発品は亀を模したもので、包装用のひもをほぐして手編みで作られ、湯田さんは「昔わらじづくりをやっていたのでその要領で作った」と話されました。

啓発品は10月1日に南会津警察署にて行われる交通安全教室で配布する予定です。



左から室井議長、湯田さん、渡部町長

消 第1支団春季非常招集訓練 防力の強化に努める

4月8日、早朝より宮本区・高野区・中荒井区それぞれの会場にて、町消防団第1支団約250人による春季非常招集訓練が行われました。訓練は、春の乾燥時における火災を想定したもので、南会津地方広域消防本部、そして地区住民も参加し、水源から消防ポンプ自動車及び小型動力ポンプを中継した長距離送水や、無線での団員間の連携について確認しました。



迅速な消火活動が行われました(宮本区)



阿玉台式土器 火炎系土器 大木8a式土器

【文化財名】 寺前遺跡出土品(深鉢形土器)3点
【文化財の種類】 有形文化財(考古資料)

縄 新たに3点を町の文化財に指定 文時代の貴重な資料

3月28日、昭和51・52年に寺前遺跡(田島地域)の発掘調査により出土した土器3点を町の有形文化財として指定しました。土器の形状から関東地方東部、中越地方、東北地方中部の影響を受けており、縄文時代から交流があったことを裏付けるものです。本町における縄文時代の文化を理解するうえで貴重な資料で、現在は奥会津博物館に所蔵・展示されています。



渡部町長に目録を手渡す高木所長㊦

地 東北電力がLED街路灯を寄贈 域貢献活動の一環として

地域の安全・安心のために役立ててもらえればと、東北電力ネットワーク田島電力センターより発光ダイオード(LED)街路灯23基を町に寄贈いただきました。

3月23日、同センターの高木晃所長が役場本庁舎に来庁し、贈呈式が行われました。高木所長からは、「夜道を明るく照らす街路灯の光が、地域のみなさんの安心、安全につながればと思います」と話しました。